

2020年10月13日

鹿児島大学病院 眼科 で眼内レンズ縫着術を受けられた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院眼科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

眼内レンズ縫着術による術後炎症の評価：多施設前向き・後向き研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科
教授 坂本 泰二

【研究の目的】

眼内レンズ縫着術では眼内レンズを固定する縫着糸や眼内レンズハプティクスが常に虹彩毛様体に接着、貫通しており、虹彩毛様体炎を惹起する可能性が理論上高いと言われております。

しかし、実際にその術後炎症が強いかどうかを調査する研究は今までになく、また日本全体で調査を行いたいので、鹿児島大学を含む多施設の結果を集積して調べます。今回の研究では、眼内レンズ縫着術を受けられた患者さんを対象

として、その術後炎症や嚢胞様黄斑浮腫発生率を調べることを目的としています。

【研究の方法】

今回の研究では、カルテによる診療情報をもとに、眼内レンズ縫着術を受けた患者さんに対して、年齢、性別、手術時間、レンズ状態、原因疾患、最高矯正視力、前房内炎症の程度、フレア値、角膜内皮数、使用眼内レンズ、網膜厚、術後所見、術後合併症の有無などを調べます。

【対象となる患者さん】

2019年1月1日から2021年9月30日までに、鹿児島大学病院眼科で眼内レンズ縫着術を施行された患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

カルテによる診療情報をもとに、眼内レンズ縫着術を受けた患者さんに対して、年齢、性別、手術時間、レンズ状態、原因疾患、最高矯正視力、前房内炎症の程度、フレア値、角膜内皮数、使用眼内レンズ、網膜厚、術後所見、術後合併症の有無などを調べます。

この研究によって取得した情報は鹿児島大学病院感覚器センター眼科 坂本泰二の責任の下、厳重な管理を行います。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科

教授 坂本 泰二

電話 099-275-5402 FAX 099-265-4894